



平成22年5月7日

各 位

上場会社名 南海プライウッド株式会社
 代表者 代表取締役社長 丸山 徹
 (コード番号 7887)
 問合せ先責任者 執行役員 管理部門長 松浦 義博
 (TEL 087-825-3615)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,750	△90	△95	△120	△12.38
今回発表予想(B)	10,918	△51	37	△221	△22.83
増減額(B-A)	168	39	132	△101	
増減率(%)	1.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,541	27	△78	△283	△28.80

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,200	△70	30	24	2.48
今回発表予想(B)	9,154	△99	△93	△124	△12.89
増減額(B-A)	△46	△29	△123	△148	
増減率(%)	△0.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	10,660	△170	△64	△247	△25.22

修正の理由

連結業績の売上高は、木材関連事業は住宅関連業界の低迷を受け予想を下回りましたが、電線関連事業で大口物件の受注により増加、経常利益で39百万円の増加となりました。しかしながら、連結子会社の土地及び建物の減損損失151百万円を計上することとなり、予想を大幅に下回る見通しとなりました。

個別業績では、住宅ローン減税他住宅需要を喚起する施策が打ち出されたものの、住宅投資意欲の低迷を払拭するにはいたらず、厳しい事業環境で推移しました。このような状況のなか、収納材提案営業強化による拡販、新規製品の発売に努めましたが、売上の減少、為替換算差損、連結子会社及び持分法適用関連会社の業績不振により損失を計上、予想を下回る見通しとなりました。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上